

人感スピーカー

PV-12AC-E (AC100V電源・プラグ式配線)

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

商品説明

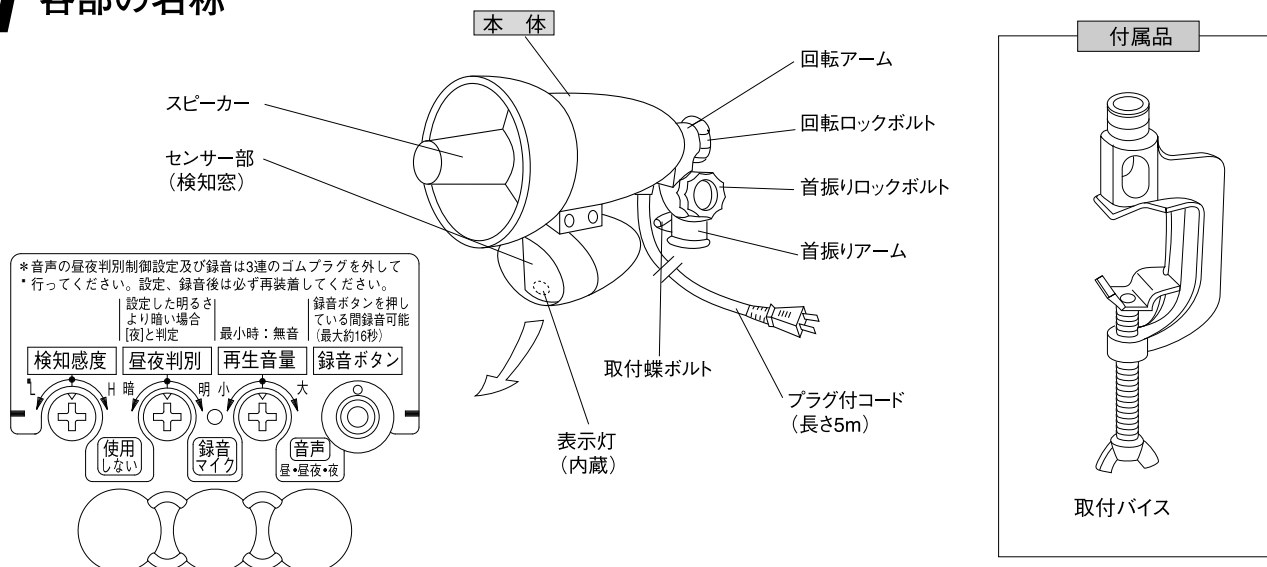
人感スピーカーPV-12AC-Eは、人体から放射される遠赤外線を検知し、スピーカーにより音声を鳴動させる自動音声報知器です。

明るさにより音声出力を制限する昼夜判別制御機能が〔夜／昼夜／昼〕3段階で選択可能です。

内蔵マイクで最大約16秒の録音が可能でホーンスピーカーにより最大100dB以上の音量で再生します。

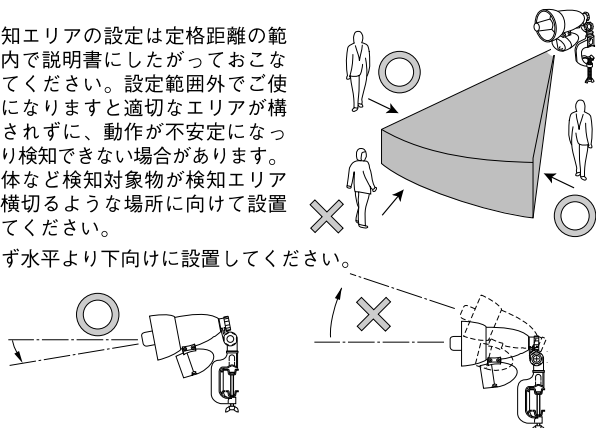
工事不要のコンセント、バイス取付タイプですので各種現場における案内や安全指示、侵入者の検知と威嚇など、多種多様な用途にお手軽にご利用いただけます。

1 各部の名称

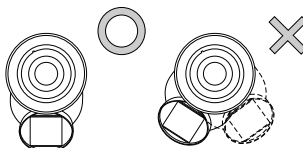


2 設置上の注意

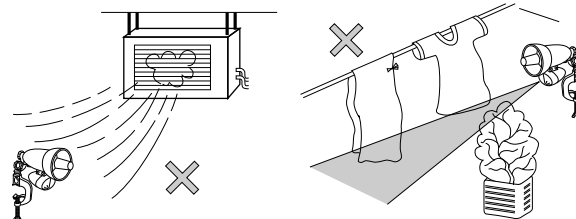
- 検知エリアの設定は定格距離の範囲内で説明書にしたがっておこなってください。設定範囲外でご使用になりますと適切なエリアが構成されず、動作が不安定になったり検知できない場合があります。
- 人体など検知対象物が検知エリアを横切るような場所に向けて設置してください。
- 必ず水平より下向けに設置してください。



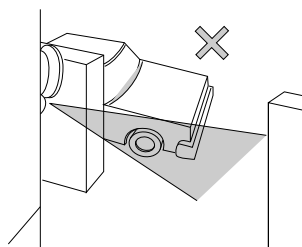
- センサーは人体の移動によって生じる遠赤外線エネルギーの変化をキャッチするように設計されています。従って、検知エリアの環境が何らかの要因で同様の変化をおこした場合は、判別できずに警報を発する場合がありますのでご了承ください。
- センサーは人体の移動によって生じる遠赤外線エネルギーの変化をキャッチしますので、センサーに向かって真っ直ぐに近づいて来るような移動に対しては検知し難くなる場合があります。
- 必ずセンサー部が下になるように取り付け、正面から見て検知窓が傾かないように設置してください。



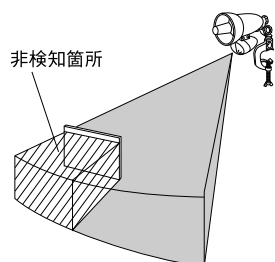
- 急激な温度変化のある場所(冷暖房器具の吹出し口など)、検知エリア内に動くもの(植物、洗濯物など)がある場所には取り付けしないでください。



- 検知エリアが敷地外に出ないように取り付け、設定をしてください。(思わぬ物を検知する場合があります)



- 検知エリア内に遮光物体(透明ガラスなどを含む)があるとその影の部分は非検知箇所となりますのでご注意ください。



- 強い振動や電気ノイズの出やすい場所には取り付けしないでください。

3 ご使用上の注意

- ◎電源投入後約1分間は動作表示灯が点滅します。
この間は機器安定化時間のため、検知動作は起こしません。
(録音機能は動作します)
- ◎本機の音声出力は周囲の明るさにより、出力を制御する昼夜判別機能を設定することができます。
設定された明るさより〔明るい＝昼〕または〔暗い＝夜〕という判別をしますので、十分ご理解のうえ設定、運用してください。
- ◎本機の音声出力は、録音音声のワンショット動作となっております。
また接点出力も音声出力時間に同したワンショット動作となっております。
出力中はセンサーが再度検知しても、出力が延長されたり、繰り返したりすることはありません。

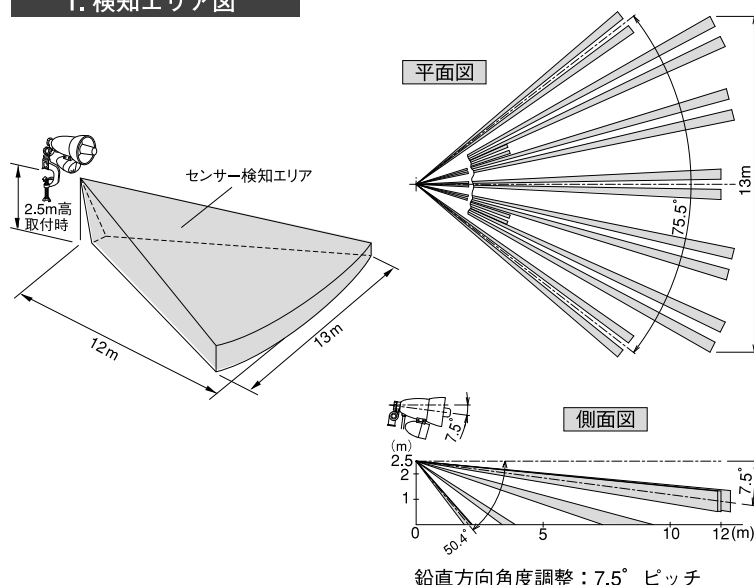
- ◎角度調整、取付用のロックボルトは最後までしっかりと締め付けてください。
不十分な場合、機器が落下したり、防雨性能を損ねることがあります。
- ◎大音量でのご使用(特に夜間)には十分な配慮をお払いください。
- ◎ホースなどで直接水をかけないでください。
(防雨構造であり、防水構造ではありません)
- ◎屋外の本格的な防犯警備システムへのご使用はおやめください。
- ◎分解・改造をしないでください。故障・破損・火災・感電の原因となる場合があります。
- ◎本機は精密機器ですので、落下などによる衝撃を加えると故障の原因となります。取り扱いには充分注意してください。



分解禁止

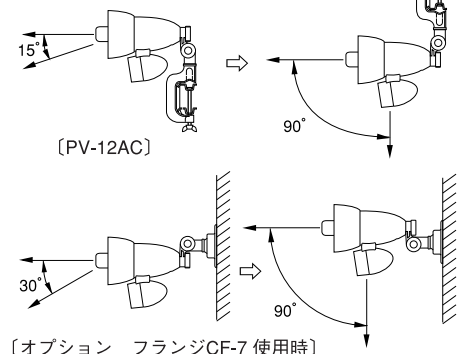
4 検知エリア

1. 検知エリア図



2. エリア(角度)調整

本機は本体後部にある3ヶ所の回転機構を持つ角度調整ユニットにより、図の様に実用上ほとんどの角度設定が可能です。以下の取付姿勢の場合は調整範囲が小さくなりますので、必要に応じて右図の取り付け方法に変更してください。

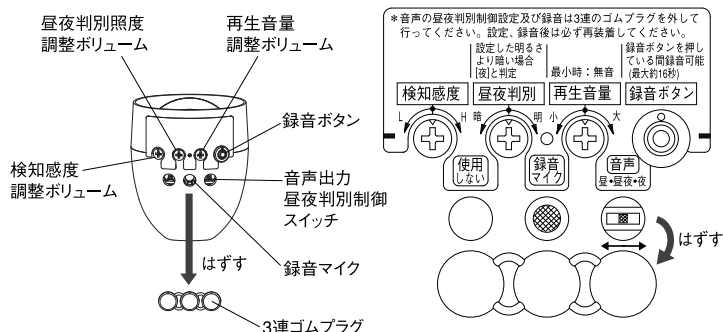


5 設定・調整機能

本機は多様な用途に対応できるように、センサーおよび出力に関して以下の機能を備えています。
下記説明を読まれて十分ご理解のうえ、センサー下面の設定スイッチ、調整ボリュームにより適切な設定をしてください。
(設定スイッチの操作は3連ゴムプラグをはずしておこなってください)

(1) 動作概要

本機は人体から放射される遠赤外線を検知し、内蔵スピーカーによる音声を出します。
音声出力は〔夜／昼夜／昼〕3種の昼夜判別制御機能を選択できます。
また上記昼夜判別の基準となる〔明るさ〕を設定することができます。
音声出力は最大約16秒の録音ができ、検知時には録音内容を1回再生します。(ワンショット動作・・動作時間＝録音時間：最大約16秒) 表示灯は音声出力に同期して点灯します。



(2) 設定・調整機能

- ◎ウオームアップ機能(この機能の設定変更はできません)
電源投入後約1分間は動作表示灯が点滅します。
この間は機器安定化時間のため、人体検知動作は起こしません。
(録音作業は可能です)

◎音声出力の昼夜判別制御の切替


検知時の音声出力を周囲の明るさで制御する機能を選択できます。
昼夜判別照度調整で設定した明るさを基準としてそれより〔明るい／暗い〕という判定をして、出力制御をおこないます。
以下の3通りより用途に応じて選択してください。

昼	昼	検知時に周囲が設定した明るさより明るい場合に出力
夜	夜	検知時に周囲が設定した明るさより暗い場合に出力
昼夜	昼夜	明るさに関係なく検知時に出力 〔出荷時設定〕

* センサー下面の3連ゴムプラグをはずして、内部のスライドスイッチを細いマイナスドライバーなどで操作してください。
* 設定後は必ず3連ゴムプラグを再装着してください。

◎検知感度調整

設置される環境や用途に応じてセンサーの検知感度を調整できます。



	20% (L) ~ 180% (H) の範囲で調整できます 〔出荷時設定：中点 (100%)〕
---	--

* 通常は〔中点〕で、動作が不安定な場合は〔L〕側へ、検知しにくい場合は〔H〕側へ調整してください。

◎昼夜判別照度調整

音声出力を制御する昼夜判別制御の判別基準となる明るさを設定・調整できます。

周囲が設定した明るさより明るい場合に〔昼〕、暗い場合に〔夜〕と判定します。


	約10 lx 以下を〔夜〕と判別 以上を〔昼〕と判別
	約1000 lx 以下を〔夜〕と判別 以上を〔昼〕と判別

* 中間の微妙な設定や周囲に照明がある場合は、周囲が設定したい明るさのときに動作確認をおこない調整してください。

* 出荷時設定：中点

◎再生音量調整

録音された音声の再生音量を調整できます。

	無音 (小) ~ 最大 (約100dB/1m) の範囲で調整 できます〔出荷時設定：中点〕
---	--

* 最小設定時は無音となりますのでご注意ください。

6 録音

1. センサー下面の3連ゴムプラグをはずしてください。
2. 電源を投入してください。（表示灯が点滅し約1分のウォームアップ状態となりますが、その間も録音は可能です）
3. 録音マイクより10cm程度、音源（口など）を離し録音ボタンを押してください。表示灯が点灯して録音可能となります。（押した状態で表示灯が点灯している間録音が可能です。
・・・最大約16秒）
4. 録音ボタンを押した状態で録音マイクに向かって音声を録音してください。
5. 録音終了と同時に録音ボタンを離してください。
6. ウォームアップ時間が終了後センサーを動作させ録音した音声を確認してください。
不具合がある場合は再度録音し直してください。
7. 元通りに3連ゴムプラグを装着してください。

* 録音は騒音がなく風の当たらない室内でおこなってください。

* 録音はウォームアップ時間に関係無く通電直後よりおこなえます。

* 録音終了後は録音ボタンを押さないよう注意してください。
押されることにより上書き録音されて、前の内容が消去されます。

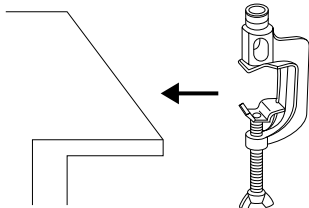
* ブザー、サイレンなどの機械音は録音しないでください。
スピーカーに負担がかかり、故障の原因になります。

* 一旦録音された内容は非通電状態で保管されても消去されません。
（不揮発性メモリーを使用）

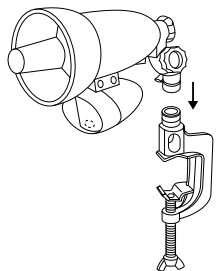
7 取付方法

録音終了後以下に従い取り付けをおこなってください。

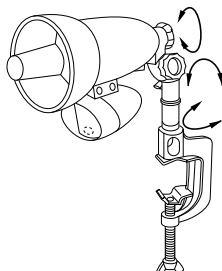
- (1) 取付場所および取付姿勢を選択してください。（2. 4. 参照）
- (2) 取付バスの蝶ボルトをゆるめて、固定する箇所をはさみ込み強くネジめ固定してください。



- (3) 首振りアームの取付蝶ボルトをゆるめて、取付バスに差し込み仮固定してください。



- (4) 回転ロックボルト、首振りロックボルト、取付蝶ボルトを少しゆるめて、検知エリアの方向、角度を決定した後、強くしめて固定してください。（4. 参照）



- (5) 動作確認をおこなってください。（8. 参照）

8 動作確認

(1) 検知エリアの確認

◎エリアチェック用に以下の設定にしてください。
（出荷時設定に同じ）

- ・検知感度調整：中点
- ・音声出力昼夜判別制御：昼夜
- ・再生音量調整：中点

◎検知エリア図参照のうえ調整角度の設定をおこなってください。

◎電源を投入して、約1分間動作表示灯の点滅が終わるのを待ってください。

◎検知エリアを横切るように歩き、表示灯の点灯および音声でエリアの位置、大きさを確認してください。

（表示灯の点灯動作は音声動作と同期しています）

◎必要に応じてエリアの角度調整、感度の調整などをおこなってください。

(2) 動作確認

◎用途、目的に応じて音量の調整、各機能の本設定をおこなってください。

◎再度センサーを検知させて、本体の表示灯、音声の動作を確認してください。

9 点検方法（正常な動作をしない場合）

次の表に従って点検してください。点検した結果、正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

異常現象	点検方法	処置
全く動作しない	電源が入っていない（断線も含む）電源電圧が低すぎませんか	電源線をチェックして電源電圧を適正にする
	電源投入後約1分間経過しましたが（表示灯が点滅していませんか）	約1分間待つ
	検知エリア前面に遮光物体がありませんか（ガラスも遮光物体となります）	遮光物体を取り除く
	検知エリアの設定は適切ですか（検知距離を含む）	検知エリアを再調整する（4.参照）
	昼夜判別制御の設定は適切ですか	昼夜判別制御を適切な設定にする（5.参照）
時々動作しない	検知エリアの設定は適切ですか（検知距離を含む）	検知エリアを再調整する（4.参照）
	昼夜判別制御の設定は適切ですか	昼夜判別制御を適切な設定にする（5.参照）
	検知窓表面がほこりや水滴で汚れていませんか	柔らかい乾いた布でふきとる
人が通らないのに動作する	電源電圧が不安定になっていませんか	電源電圧を適正にする
	電氣的雑音（放送局・アマチュア無線局など）の発生源が近くにありませんか	取付場所を変更する
	検知エリア内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか	原因となるものを取り除く 感度ボリュームを低い方に調整する
	検知エリア正面から太陽光、ヘッドライトなどの直射はありませんか	取付場所を変更する 検知エリアを再調整する（4.参照）
	設定した検知エリアと思われる以外の人や車を検知していませんか	検知エリアを再調整する（4.参照）
	犬、猫などの小動物が出入りしていませんか	小動物が出入りを防ぐ
音声再生しない	再生音量のボリュームの設定が最小になっていませんか	適切な音量に調整する（最小設定時無音となります）
	録音後 誤って再度録音ボタンを押していませんか	音声が消去されているので再度録音をおこなう
	昼夜判別制御の設定は適切ですか	昼夜判別制御を適切な設定にする（5.参照）

日常点検

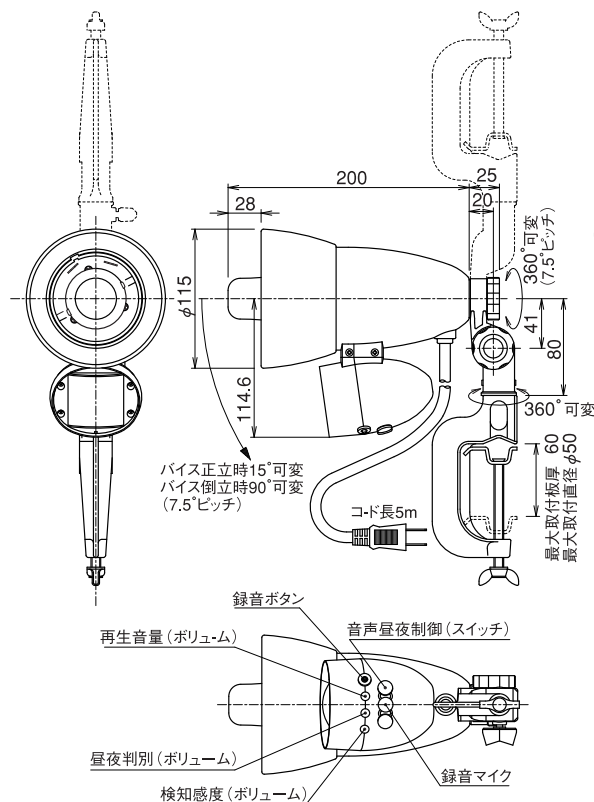
●お手入れの際は、中性洗剤を含ませた柔らかい布でふいてください。●週1回程度は定期的に動作確認をしてください。シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。

10 仕様

品名	人感スピーカー
品番	PV-12AC-E
検知方式	パッシブ・インフラレッド方式
検知エリア	立体検知 最長部：12m ゾーン数：24本（12対）
電源電圧	AC100V±10V（50/60Hz）
消費電流	・待機時：3W以下 ・動作時：10W以下（最大音量時）
昼夜判別機能	設定明るさ（約10lx～約1000lx）以下を〔夜〕、以上を〔昼〕と判定
音声出力	ホーンスピーカーにて録音音声を出力 ・出力動作：ワンショット動作（録音音声の1回再生 最大約16秒） ・音量調整：0～最大100dB以上（機器正面、距離1mにて） ・録音方法：内蔵マイク入力（録音ボタンを押している間録音） ・録音時間：最大約16秒 ＊〔夜／昼／昼夜〕3段階の昼夜判別出力制御の選択が可能
表示灯	・表示：赤色LED ・ウォームアップ時：点滅（約1秒に1回） ・検知時：点灯（音声出力または接点出力に同期） ・録音時：点灯（録音ボタンを押している時間に同期…最大約16秒）
感度調整	約20%～約180%
配線接続	プラグ 付属長：5m
取付方法	バイス式（挟み込み固定）
使用可能周囲温度	－20℃～＋50℃（結露・氷結なきこと）
設置場所	屋内・屋外（防雨構造）
質量	約1650g（取付バイス、付属電線を含む）
外観	・本体：PC樹脂（ブラック） ・調整・取付部：PPO樹脂（ブラック）
付属品	・取付バイス：1個

- オプション
- ・引掛シーリング：BC-15
 - ・黒色フランジ：CF-7

11 外形寸法図（単位：mm）



竹中エンジニアリング株式会社

汎用機器事業部

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1

TEL (075) 594-7211(代) FAX (075) 501-2085

札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島・高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.

http://www.takex-eng.co.jp/

■免責事項について■

- 本商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震・雷（誘導雷サージを含む）および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検の不備や、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。